

政令指定都市30周年

—未来へつなぐ、これまでの軌跡

東北の政治・経済の中心的都市として発展してきた仙台市。平成元年4月の政令指定都市移行から、30周年を迎えました。これまでの歩みを、写真と年表でたどります。

政令指定都市への歩み

慶長5年（1600年）、伊達政宗公が居城を定め、都市として歩み始めた仙台。明治22年（1889年）には市制を施行し、人口約8万6千人の仙台市が誕生しました。政令指定都市は、昭和31年に施行された制度で、都道府県の権限の多くが移譲されます。

昭和52年には、仙台都市圏広域行政推進協議会が設立。市町村の区域を越えた広域行政が本格化しました。そのような中、本市と日常生活圏が一体的な関係の地域との合併により政令指定都市への移行を目指し、総合的なまちづくりを推進しようとの機運が高まり、昭和62年に宮城町、昭和63年に泉市、秋保町と合併。平成元年4月に、本市は全国で11番目の政令指定都市となりました。

同時に区を設置。それまで本庁舎で取り扱っていた窓口事務の多くが、青葉、宮城野、若林、太白、泉の5つの区役所と、宮城、秋保の2つの総合支所へ移りました。当時の人口は約89万6千人、新たなまちづくりが始まりました。



平成元年4月号の市政だより。「区」ができたことお知らせしました

政令指定都市としての都市基盤が充実

移行の前後から、仙台市では、施設の建設や交通基盤の整備が進むとともに、大規模イベントが開催されるなど、政令指定都市としての魅力や活力を増していきます。

平成元年には花と緑の祭典「グリーンフェアせんだい」を開催。大花壇の整備やパピリオンの出展などが行われ、80日間の期間中に全国から約138万人が集まりました。平成3年には、第1回仙台ハーフマラソン大会を開催。当時の参加者151人から、現在は1万人以上が参加する国際大会となり、都市型のハーフマラソンとしては屈指の大会に育ちました。

同年に市民ボランティアの手でスタートしたのが「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」。今も「楽都仙台」を代表するイベントの一つとして、多くの方に親しまれています。同じ年に仙台国際センターが開館。主に国際会議などのコンベンションの会場として利用され、仙台と世界を結ぶ国際交流の拠点施設となりました。そのほか青年文化センターや福祉プラザなどのさまざまな施設が、この時期に開館しました。

また、昭和62年開業の地下鉄南

市民協働のまちづくり

順調に人口が増え、大都市へと成長を続けてきた仙台市は、平成11年に人口100万人を突破。都市としての成熟期を迎えました。



平成11年4月号の市政だより。東二番丁小学校の皆さんが「100」を人文字で表しました

交通体系や環境などの質を重視した集約型のまち、動きやすく暮らしやすいコンパクトなまちづくりを目指すとともに、行政だけでなく、市民や企業と連携する「協働」によるまちづくりを推し進めていくこととなります。

平成11年には、市民活動サポートセンターが開館。市民活動やボランティア活動の拠点となり、多くの市民活動を生み出しました。

30年の歩み

- 昭和62年（1987年）
 - 11月●宮城町と合併
- 昭和63年（1988年）
 - 3月●泉市、秋保町と合併
- 平成元年（1989年）
 - 4月●政令指定都市としてスタート
 - 政令指定都市移行記念式典開催
- 7月10日●グリーンフェアせんだい開催（写真①）
- 平成2年（1990年）
 - 3月●青年文化センター開館
 - 4月●仙台・ソウル国際定期便就航
 - 9月●科学館を台原森林公園に移転
- 平成3年（1991年）
 - 3月●第1回仙台ハーフマラソン大会開催（写真②）
 - 9月●第1回定禅寺ストリートジャズフェスティバル開催
- 仙台国際センター開館
- 平成4年（1992年）
 - 10月●日米市長及び商工会議所会頭会議開催
- 平成6年（1994年）
 - 7月●地下鉄南北線が泉中央駅まで延伸
 - 3月●仙台東部道路・南部道路の一部供用開始
 - 9月●福祉プラザ開館
- 平成7年（1995年）
 - 11月●ブランメル仙台（現ベガルタ仙台）設立
 - 7月●仙台港に国際定期航路就航
- 8月9日●若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール開催
- 平成8年（1996年）
 - 3月●仙台市環境基本条例制定
 - 6月●仙台市ひとにやさしいまちづくり条例制定
 - 11月●地底の森ミュージアム開館
- 平成9年（1997年）
 - 6月●仙台スタジアムオープン
 - 7月9日●国際ゆめ交流博覧会開催
 - 8月●ガラス市（アメリカ合衆国）と国際友好都市提携
- 平成10年（1998年）
 - 4月●百年の杜づくり事業開始
- 10月11日●第1回みちのくYOSAKOIまつり開催
- 平成11年（1999年）
 - 3月●仙台文学館開館
 - 5月●市の人口が100万人を突破
 - るーぷる仙台運行開始
 - 6月●市民活動サポートセンター開館
- 平成13年（2001年）
 - 1月●せんだいメディアテーク開館（写真③）
 - 5月6月●第1回仙台国際音楽コンクール開催（写真④）
 - 10月●第1回全国障害者スポーツ大会開催
- 平成14年（2002年）
 - 3月●ベガルタ仙台がJ1初参戦
 - 4月●光州広域市（大韓民国）と国際姉妹都市提携
 - 5月6月●2002ワールドカップ・サッカーイタリア代表チームがキャンプのため仙台に滞在
- 平成15年（2003年）
 - 8月●仙台城跡が国の史跡に指定



4 第1回仙台国際音楽コンクール



5 東北楽天ゴールデンイーグルスが新規参入



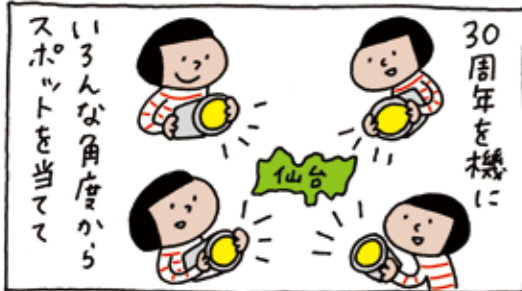
6 東北六魂祭(第1回)



7 第3回国連防災世界会議



8 地下鉄東西線が開業



5月号から、仙台のこれからを見つめる連載を始めます。在仙のイラストレーター・佐藤ジュンコさんによる漫画も掲載しますので、お楽しみに

平成13年に、せんだいメディアテークが開館。チューブが並ぶ仕切りのない空間は開放感にあふれ、映像文化や美術などの拠点施設となるとともに、この建築物を見るために国内外から多くの人が訪れました。同じ年には、才能ある若い演奏家を世界に送り出している「仙台国際音楽コンクール」の第1回を開催。3年に一度のコンクールは、ホームステイ受け入れなど市民ボランティアに支えられ、今年で7回目を数えます。

平成14年にはベガルタ仙台がプロサッカーリーグのJ1に初参戦。平成16年には、宮城球場を拠点とする東北楽天ゴールデンイーグルスのプロ野球新規参入のほか、プロバスケットボールチームの仙台89ERSが設立。市民の熱い応援を受け、多くの人に愛されるプロスポーツチームが育ってきました。

同年には「第1回グリーン購入世界会議」を開催。環境への配慮を推進する「グリーン購入仙台宣言」を採択し、地球規模での連携を訴えました。また、毎年秋に開催のクラシック音楽の祭典「仙台クラシックフェスティバル」は、平成18年に第1回を開催。「百万都市仙台」では、市民の力がまちを動かす、さまざまな文化やイベントが生まれ、育ってきました。

北絆まつり」として、東北一巡を目指しています。平成27年には第3回国連防災世界会議が仙台で開催され、パブリック・フォーラムを含め延べ約15万人が参加。市民や企業等多様な主体による防災の取り組みの必要性などを示した「仙台防災枠組」が採択されるとともに、東日本大震災被災地から防災や復興の取り組みなどを国内外に発信しました。

同年には仙台で2路線目となる地下鉄東西線が震災を乗り越え開業し、南北線を含む交通の軸が完成。市民の足として、新たなまちづくりを支える存在となりました。また、震災の経験や教訓を継承する施設として、せんだい3・11メモリアル交流館が平成28年に開

震災を乗り越え、ともに前へ

平成23年、市内の最大震度6強となる東日本大震災が発生。津波により沿岸部が壊滅的な被害を被ったほか、内陸部の住宅地など広範囲に甚大な被害を受けました。



平成23年4月号市政だより。印刷会社の提携企業である新潟県の業者の支援により、印刷にこぎつけました

震災以降、全国・世界中からの救援をいただきながら復旧・復興に努め、同年11月には震災復興計画を策定。生命と暮らしを守る「新次元の防災・環境都市」を実現するため、市民と「ともに、前へ」復興を力強く推進してきました。防災集団移転や被災宅地復旧等の事業を進め、平成27年までに防災集団移転先の宅地の整備が完了、翌年には復興公営住宅が全て完成しました。

復旧・復興のさなかに、震災からの復興と犠牲者の鎮魂を願い、東北六県の6つの祭りを一堂に集めて平成23年に仙台から始まったのが「東北六魂祭」。現在は「東

市民の皆さまとともに歩みを進めていきます

平成から次の時代に移ろうとする中、これからのまちづくりにおいては、都市の個性や強みを生かしていくことが必要となります。未来に向けたまちづくりの指針となる、新総合計画の策定に向けた取り組みも本格化します。ワークショップなど多くの市民参画の機会を設け、市民の皆さんと力を合わして新しい仙台の未来を描いていきます。復興の次のステージに向けて、ともに歩みを進めていきましょう。

平成16年(2004年)

- 1月●子育てふれあいプラザ(のびすく仙台)開館
5月●仙台89ERS設立
10月●第1回グリーン購入世界会議開催

- 百年の杜づくり事業が緑の都市賞緑の都市づくり部門で内閣総理大臣賞を受賞
11月●東北楽天ゴールデンイーグルスのプロ野球新規参入が決定(写真5)

平成17年(2005年)

- 11月●オウル市(フィンランド共和国)と国際産業振興協定締結

平成18年(2006年)

- 1月●台南市(台湾)と交流促進協定締結
3月●荒川静香選手「金メダルおめでとう」記念式開催

平成19年(2007年)

- 2月●地下鉄東西線本体工事着工
5月●元氣フィールド仙台開館

平成20年(2008年)

- 7月●天文台を錦ヶ丘に移転
10~12月●仙台・宮城ディスプレイネーションキャンペーン開催

平成22年(2010年)

- 9月●日本APEC第3回高級実務者会合等開催

平成23年(2011年)

- 3月●東日本大震災(M9.0)発生。宮城野区で震度6強。死者(市民)1002人、全壊建物3万34棟(31年3月現在)
7月●東北六魂祭(第1回)開催(写真6)

平成24年(2012年)

- 11月●仙台市震災復興計画策定

平成25年(2013年)

- 10月●ねりんピック宮城・仙台2012開催

平成26年(2014年)

- 6月●国宝「慶長遣欧使節関係資料」の一部がユネスコ記憶遺産に登録
11月●東北楽天ゴールデンイーグルスが日本一になり「楽天イーグルス優勝パレード」開催

平成27年(2015年)

- 4月●羽生結弦選手「金メダルおめでとう」パレード開催
11月●市立病院をあすと長町に移転

平成28年(2016年)

- 3月●第3回国連防災世界会議開催(写真7)
●防災集団移転先の宅地整備完了
12月●地下鉄東西線開業(写真8)

平成29年(2017年)

- 2月●せんだい3・11メモリアル交流館全館開館
4月●「政宗が育んだ伊達な文化」が日本遺産認定
5月●G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議開催
6月●復興公営住宅が全て完成

平成30年(2018年)

- 4月●震災遺構仙台市立荒浜小学校公開
6月●東北絆まつり2017仙台開催
11月●世界防災フォーラム/防災ダボス会議開催

平成31年(2019年)

- 4月●羽生結弦選手「2連覇おめでとう」パレード開催
7月●海岸公園が全面オープン
4月●市制施行130周年。政令指定都市移行30周年